

2017 SGH通信

【1年生配布用】

No.10 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

日本語エッセイ(essay)の作成に向けて

以下の点を確認してから、来週の留学生へのリサーチインタビューに臨みましょう。

岐阜県の課題調査、グローバル課題発見講演会、SDGs講演会、留学生へのリサーチインタビューなどで得られたことや考えたことを日本語エッセイにしてまとめます。

(1) テーマ

「岐阜県とアジアの共通課題について」

〔ポイント〕

- ① SDGsを踏まえた視点を入れていること
- ② 岐阜県内の課題を指摘していること
- ③ アジアの各国で問題となっていることを指摘していること
- ④ ②・③から、共通課題・類似点を指摘していること

この4点をしっかりとふまえた日本語エッセイであること。

*ここで言う「エッセイ(essay)」とは、「ある特定の主題について論じた文。小論文。論説。」(『明鏡国語辞典第二版』)という意味である。



(2) エッセイの書き方

- ・構成 3つのパラグラフで書く。各パラグラフの始まりは1字下げる。

(第1パラグラフ) 岐阜県の現状

- ・5月までの課題調査から見たことをSDGsの目標と関連付けて考察する。7月までの講演で参考にできることがあれば、ここに書く。

(第2パラグラフ) アジアの現状

→エッセイの中心となる部分であるので一番字数を費やす

- ・岐阜県の現状をふまえ、アジアでどんなことが起きているのかを留学生インタビューや通信等を参考にして、共通課題としてまとめてみる。理由づけもする。
- ・具体的な共通課題が見当たらない場合は、広く「医療問題」「環境問題」という枠組みで共通化させてもよい。

(第3パラグラフ) 自分の考え及び今後の方向性

- ・共通課題解決のために、研究したい事、取り組んでみたいことを書く。

- ・字数 850字(実質は800字)~1,200字
- ・書式 Word形式 文字ポイント10.5(標準) 40字×30行(上下左右 余白30mm)
A4サイズ1枚に収める。

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

- ・引用 講演やインタビューの発言を直接話法で引用する場合（「……」内はまとめた内容にする）

〔例〕 〇〇会社の〇〇氏はこのように述べている。「……………」
留学生〇〇さんによると、「……………」ということである。

- ・エッセイのフォーム

ヘッダで作成（本文に含めない）

SGH課題研究・日本語エッセイ

「岐阜県とアジアの共通課題について」

1年〇組〇番 氏名〇〇 〇〇

（1行空ける）

1 岐阜県の現状

（以下本文）

1～3の小見出しを必ず付ける

2 アジアの現状

（以下本文）

3 今後の方向性

（以下本文）

（3）作成時間

9月22日（金）もしくは10月6日（金）の課題研究（PC室1・2を使用）計3時間で完成。

（4）留意事項

- ・作成時間が限られているので、事前に何をかくべきか考えていく。

（5）評価の観点

- ・7月までの取り組みをエッセイに表現できている。
 - ・留学生インタビューから分かったことを作品に落とし込んでいる。
 - ・岐阜の課題との共通課題としてアジアに目を向けている。
 - ・課題に対して、自分の研究の方向性が書けている。
- ※ 提出期限等基本的なことも評価対象です。